

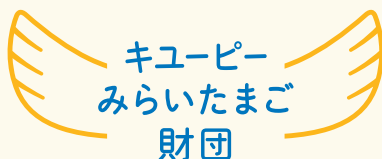
■主催 公益財団法人 キューピーみらいたまご財団

第7回

地域の居場所づくりサミット

助成公募説明会
～新型コロナに負けない居場所づくり支援～
オンラインイベント

2020.11.7 土
14:00～16:00



14:00～14:40

- ▶ 第1部 | キューピーみらいたまご財団
2021年度助成事業説明会

14:45～16:00

- ▶ 第2部 | 食の居場所づくり講座

予約制 16:30～18:00

- ▶ オンライン 助成事業 個別相談会

オンライン
セミナー

参加費
無料

先着300名
申し込み制

【申込み/先着100名】 電話又は下記ホームページより申し込みフォームにおすすみください。



03-5426-2547

(受付平日10～17時)

申し込み

<http://www.mow.jp>

■共催 一般社団法人 全国食支援活動協力会

第 1 部 キューピーみらいたまご財団 助成事業説明会

キューピーみらいたまご財団では、食育活動および子どもの貧困対策などに取り組む団体への寄付を中心とした助成活動を行っています。

2020 年度は 133 団体へ 4,343 万円の助成を行いました。サミットでは、2021 年度の助成事業に関する最新情報をお伝えします。

食育活動への助成

食を通した居場所づくり支援
(子どもの貧困対策)

第 2 部 食の居場所づくり講座

～コロナ禍における子どもの居場所～

【議題提起】 食材供給とマッチング、コロナ禍での居場所活動状況

一社) 全国食支援活動協力会 専務理事 平野 覚治



1986年設立。〈食の居場所〉に関わる幅広い機関とのネットワークを生かし、子どもから高齢者まで、地域の誰もが安心して暮らし続けるためのコミュニティづくりに取り組む。現在、会員(正会員/メール情報会員)は約700団体・機関が参画。2019年度より休眠預金事業資金分配団体として、こども食堂サポートセンターを中間支援団体と立ち上げこども食堂等居場所を支援する。

【事例紹介①】 こども食堂サポートセンターの取組み

こどもの居場所サポートおおさか 横田 弘美さん



大阪市西成区でこども食堂等居場所の活動団体が安定的な活動が行えるよう、相談・寄付物品の提供・情報発信等の中間支援を実施。「こども食堂等こどもの居場所をつうじて、食を楽しみながらこどもが自身の生きる力を育み、地域でこどもを見守る社会を目指して」という想いのもと活動に取り組む。

【事例紹介②】 コロナ禍のこども食堂

しま☆ルーム 福井 潤一郎さん



大阪市中央区島之で毎週水曜日にこども食堂を開催。近くの放課後学習支援教室「Minamiこども教室」と連携し学習支援にも取り組む等、こどもの居場所整備を目指している。コロナ禍においてはお弁当の配食や食材の配布を実施。こども食堂を一時的に再開した際は二部制を採用する等、子どもにとって欠かせない居場所を守るべく試行錯誤を続けている。

【対談・質疑応答】 コメンテーター 石田 易司先生 (桃山学院大学名誉教授)